

# 日本社会福祉系学会連合 2021年度活動報告

日本社会福祉系学会連合  
前会長 湯澤 直美(立教大学)

社会福祉学関連の学会が加盟する日本社会福祉系学会連合は、加盟学会間の共通テーマに関する情報共有や学術連携を行うとともに、日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会への協力を行っています。2022年5月29日に開催された総会および2022年度の活動方針について、ご報告致します。

## 1. 総会報告

2022年5月29日(日)18時から、WEB会議形式により総会を開催しました。2021年度事業報告、2021年度決算および監査報告、2022年度事業計画案および予算案、役員交代について審議され、すべて承認されました。

日本社会福祉系学会連合は運営委員会によって活動を進めており、役員・運営委員の任期は2年となっています。2022年度は、会長・事務局長が交代するとともに、新たに、日本保健福祉学会、日本在宅ケア学会、日本ソーシャルワーク学会、社会事業史学会の4学会に運営委員選定の依頼をし、承諾をいただきました。また、日本社会福祉学会、地域福祉学会からも引き続き運営委員を担っていただき、下記の体制で運営されることとなります。

会長	保正友子氏 (日本社会福祉学会)
事務局長	後藤広史氏 (日本社会福祉学会)
広報担当	小櫃俊介氏 (日本社会福祉学会)
会計担当	渡辺裕一氏 (日本保健福祉学会)
庶務担当	越智あゆみ氏 (日本社会福祉学会)
研究担当	北本佳子氏 (日本地域福祉学会)
研究担当	加瀬裕子氏 (日本在宅ケア学会)
研究担当	和気純子氏 (日本ソーシャルワーク学会)
監事	宇都宮みのり氏 (社会事業史学会)

## 2. 2022年度事業計画

### 1) ホームページの充実

ホームページを活用し、更なる会員との情報共有に努めます。加盟学会の大会等に関する情報を掲載(月1回更新)するとともに、本連合および日本学術会議等の最新情報を適時、掲載します。

### 2) 電子版ニュースレターの発行

学会連合の活動内容を広く会員に周知するため、年2回、電子版ニュースレターを発行します(10月、3月予定)。

### 3) ホームページにおける災害福祉アーカイブの作成(継続)

2013年より「災害福祉アーカイブ」を連合ホームページ内に設け、震災関連の研究論文、報告書などを収集しています。引き続き情報の収集、掲載の工夫を行うとともに、新型コロナウイルス感染症に関する研究論文、報告書なども収集し、加盟学会の学会員の研究の一助にしていきます。

### 4) 加盟学会の活動に対する補助

日本社会福祉系学会連合の加盟学会が活性化することを目的として、外部の専門家(非会員)に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する「補助金制度」を2017年度に創設しました。補助金の額は1回5万円、補助金を受ける学会は年に5学会として、2022年度も引き続き実施します。

### 5) 調査研究事業の実施

大学院生や研究職となって5年などの初期キャリアの研究者の現状や要望を把握するアンケート調査を、日本社会福祉学会と協働して実施します。2021年度中に検討したアンケート調査票案をもとに、2022年度は調査を実施し、報告書にとりまとめるとともに、結果をもとにしたシンポジウムを開催する予定です。

### 6) 日本学術会議の活動に対する支援と協力

#### ①2022年4月23日実施のシンポジウムの後援

テーマ : 孤独・孤立と「つながり」の再生

主催 : 日本学術会議社会学委員会・経済学委員会合同包摂的社会政策に関する多角的検討分科会、社会学委員会社会福祉学分科会

②日本学術会議社会学委員会社会福祉学関連分科会により開催が予定されているシンポジウムに協力をしていきます。